



2026年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年8月8日

上場会社名 北海道中央バス株式会社
コード番号 9085 URL <https://www.chuo-bus.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 札
TEL 0134-24-1111
(氏名) 二階堂 恭仁
(氏名) 安田 徹

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	6,940	1.4	223	—	148	—	43	—
2025年3月期第1四半期	7,038	5.9	456	—	368	—	459	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	16.50	—
2025年3月期第1四半期	175.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	40,431	29,340	72.2
2025年3月期	39,514	29,600	74.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 29,175百万円 2025年3月期 29,435百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2026年3月期の配当予想については、未定としております。

3. 2026年 3月期の連結業績予想(2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	37,300	3.6	1,900	16.1	2,000	24.2	1,600	29.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1 社 (社名) マイラシーライフサポート (株) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期1Q	3,146,000 株	2025年3月期	3,146,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2026年3月期1Q	529,876 株	2025年3月期	529,826 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1Q	2,616,124 株	2025年3月期1Q	2,616,419 株
------------	-------------	------------	-------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(連結範囲の重要な変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善する中、緩やかに回復しました。道内の経済においては、個人消費が堅調に推移するとともに、観光需要が増加しました。

一方では、物価上昇や人手不足の状況が続くなど、依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は6,940百万円（対前年同期比1.4%減）、223百万円の営業損失（前年同期は456百万円の営業損失）、148百万円の経常損失（前年同期は368百万円の経常損失）、43百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失（前年同期は459百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① 旅客自動車運送事業

乗合運送事業は、人員不足により札幌地区を中心に路線の廃止、減便を実施しましたが、2024年12月1日に実施した札幌市内線などの運賃改定の効果があり、増収となりました。また、新千歳空港連絡バスにおいて、札幌都心と空港を結ぶ路線の増便や小樽と空港を結ぶ路線の新設により、増収に努めました。

貸切運送事業は、修学旅行の取り扱いが増え、増収となりました。

この結果、旅客自動車運送事業全体として、売上高は4,400百万円（対前年同期比8.8%増）、65百万円の営業損失（前年同期は296百万円の営業損失）となりました。

② 建設業

建設業は、道内の公共投資や民間設備投資が堅調に推移する中、受注状況は順調でしたが、完成工事高は減少しました。

この結果、売上高は1,298百万円（対前年同期比32.5%減）、101百万円の営業損失（前年同期は56百万円の営業損失）となりました。

③ 清掃業・警備業

清掃業・警備業は、前年同期並みの売上高を確保しました。

この結果、売上高は769百万円（対前年同期比0.2%減）、営業利益は35百万円（同4.4%減）となりました。

④ 不動産事業

不動産事業は、賃貸料の見直しなどにより、増収となりました。

この結果、売上高は205百万円（対前年同期比3.7%増）、営業利益は80百万円（同10.1%増）となりました。

⑤ 観光関連事業

ニセコアンヌプリ国際スキー場は、春スキー客が増加しました。

ニセコ温泉郷「いこいの湯宿いろは」は、地元客向けの宿泊プランを新たに販売するなど、集客に努めました。

小樽天狗山スキー場は、映画のロケ地となったことによる知名度向上やメディア露出効果などにより、ロープウェイ利用客が増加しました。

砂川ハイウェイオアシス館は、イベントを開催するなど集客に努めました。

ワイン&カフェレストラン「小樽バイン」は、宴会スペースを新設し、宴会プランを新たに取り入れるなどリニューアルオープンしました。

旅行業は、北海道遺産を巡るツアーなどを実施し、増収に努めました。

この結果、観光関連事業全体として、売上高は394百万円（対前年同期比22.6%増）、当第1四半期（4月～6月）はスキー場がシーズンオフであることが影響し、165百万円の営業損失（前年同期は168百万円の営業損失）となりました。

なお、当セグメントは、スキー場の営業が冬期間中心であるため、第4四半期の売上高が他の四半期に比べて高くなる季節的変動があります。

⑥ その他の事業

物品販売業は、商品の取扱いが増加しました。自動車教習所は、高齢者講習の受講者が増加しました。介護福祉事業は、入居者が増加しました。

この結果、その他の事業全体として、売上高は573百万円（対前年同期比19.2%増）、人件費の増加などもあり、9百万円の営業損失（前年同期は41百万円の営業損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は40,431百万円で、前連結会計年度末と比べ917百万円(2.3%)の増加となりました。これは、現金及び預金が1,242百万円、有価証券が1,224百万円それぞれ増加したこと、受取手形、売掛金及び契約資産が1,894百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は11,091百万円で、前連結会計年度末と比べ1,177百万円(11.9%)の増加となりました。これは、流動負債のその他が1,392百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は29,340百万円で、前連結会計年度末と比べ260百万円(0.9%)の減少となりました。これは、利益剰余金が188百万円減少したこと等によるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,331,309	11,573,974
受取手形、売掛金及び契約資産	4,388,376	2,493,540
有価証券	2,575,195	3,800,127
商品	19,744	26,271
原材料及び貯蔵品	209,378	246,353
未成工事支出金	81,572	332,279
その他	250,546	418,831
貸倒引当金	△4,345	△3,276
流動資産合計	17,851,777	18,888,100
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,428,174	21,432,951
減価償却累計額	△16,599,548	△16,638,206
建物及び構築物（純額）	4,828,626	4,794,744
車両運搬具	26,394,450	26,272,121
減価償却累計額	△23,973,362	△23,702,309
車両運搬具（純額）	2,421,087	2,569,812
土地	9,748,842	9,741,473
その他	5,397,653	5,478,850
減価償却累計額	△4,442,254	△4,492,777
その他（純額）	955,398	986,072
有形固定資産合計	17,953,954	18,092,102
無形固定資産	145,948	145,504
投資その他の資産		
投資有価証券	2,772,886	2,519,477
退職給付に係る資産	375,928	375,928
その他	420,401	417,104
貸倒引当金	△6,587	△6,588
投資その他の資産合計	3,562,629	3,305,920
固定資産合計	21,662,532	21,543,527
資産合計	39,514,310	40,431,628

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,722,742	1,732,007
リース債務	119,212	158,601
未払法人税等	552,449	51,898
賞与引当金	225,655	197,689
その他の引当金	5,817	850
その他	2,511,651	3,904,343
流動負債合計	5,137,528	6,045,391
固定負債		
リース債務	817,878	1,081,496
退職給付に係る負債	2,509,504	2,488,349
役員退職慰労引当金	347,975	353,504
その他	1,100,550	1,122,497
固定負債合計	4,775,908	5,045,847
負債合計	9,913,436	11,091,238
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,100,000	2,100,000
資本剰余金	734,307	734,307
利益剰余金	27,129,336	26,941,294
自己株式	△1,220,737	△1,220,925
株主資本合計	28,742,906	28,554,676
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	541,575	453,485
退職給付に係る調整累計額	150,545	167,742
その他の包括利益累計額合計	692,120	621,228
非支配株主持分	165,845	164,485
純資産合計	29,600,873	29,340,390
負債純資産合計	39,514,310	40,431,628

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	7,038,119	6,940,200
売上原価	6,695,853	6,300,285
売上総利益	342,265	639,915
販売費及び一般管理費	798,537	863,608
営業損失(△)	△456,271	△223,692
営業外収益		
受取配当金	49,409	32,558
持分法による投資利益	19,782	21,461
その他	19,137	23,280
営業外収益合計	88,329	77,300
営業外費用		
支払利息	—	2,266
その他	686	284
営業外費用合計	686	2,550
経常損失(△)	△368,629	△148,943
特別利益		
固定資産売却益	40	5,568
投資有価証券売却益	—	198,841
その他	15	—
特別利益合計	55	204,410
特別損失		
固定資産除売却損	5,989	18,625
減損損失	1,892	—
投資有価証券売却損	1,547	7,394
特別損失合計	9,429	26,020
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△378,002	29,446
法人税、住民税及び事業税	46,450	29,430
法人税等調整額	40,750	43,507
法人税等合計	87,200	72,938
四半期純損失(△)	△465,203	△43,491
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,184	△331
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△459,018	△43,159

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純損失(△)	△465,203	△43,491
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	79,894	△77,356
退職給付に係る調整額	15,982	17,196
持分法適用会社に対する持分相当額	△351	△10,561
その他の包括利益合計	95,525	△70,721
四半期包括利益	△369,678	△114,213
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△363,484	△114,052
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,193	△160

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結範囲の重要な変更に関する注記)

当社及び(株)泰進建設は、2025年4月1日付で、介護福祉事業を営む「マイラシーライフサポート(株)」を設立しております。

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	旅客自動車 運送事業	建設業	清掃業・ 警備業	不動産事業	観光関連 事業	その他の 事業	合計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	4,018,875	1,766,580	475,871	113,822	319,823	343,145	7,038,119	—	7,038,119
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27,190	157,593	294,941	84,741	2,101	137,695	704,262	△704,262	—
計	4,046,065	1,924,173	770,813	198,563	321,924	480,840	7,742,382	△704,262	7,038,119
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△296,231	△56,800	37,109	73,201	△168,681	△41,878	△453,280	△2,991	△456,271

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

金額の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	旅客自動車 運送事業	建設業	清掃業・ 警備業	不動産事業	観光関連 事業	その他の 事業	合計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	4,374,690	1,193,695	467,768	116,838	393,103	394,103	6,940,200	—	6,940,200
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25,414	104,406	301,374	88,987	1,566	178,906	700,656	△700,656	—
計	4,400,104	1,298,101	769,143	205,825	394,670	573,010	7,640,856	△700,656	6,940,200
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△65,176	△101,549	35,494	80,629	△165,639	△9,877	△226,116	2,423	△223,692

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	325,631千円	338,666千円